

# 石川県珠洲市 & 早稲田大学 地域連携ワークショップ<sup>o</sup> 2023

## 地域連携ワークショップとは

まちづくり、地域ブランド、移住定住、観光……自治体が抱える課題の解決策を、学生チームが提案する実践型のワークショップです。学部・学年を超えて集まった学生同士が議論しながら仮説を立て、自治体関係者や住民の方々へのヒアリングなどを通して提案につなげます。地域の魅力を知り、課題を深く考え、仲間と協働することは成長の機会になります。

## おススメのポイント！

- 過疎化や少子高齢化が進んでいる地域の実情や課題を学ぶことができます
- ワカモノ・ヨソモノ視点をフル活用して地域貢献に携わることができます
- グローバルエデュケーションセンター実践型教育プログラム「地域連携実践コース」の対象プログラムです

## テーマ

### 空き家の活用アイデア求む！ ～すぐ住める「賃貸」の空き家を増やすには？～

能登半島の先端にある珠洲市では、東京のような便利さはありません。しかし、豊かな里山里海が広がり、地域に根ざした伝統的な産業・文化や、人々が培ってきた暮らしの知恵や技が今も息づいています。だからこそ、「ホンモノの田舎である」「何かできそうな余白がある」ことに魅力を感じて移住する **20～30 代の若者が近年増えています**。

しかし、移住者など空き家を利用したい人は賃貸希望が多いのに対し、空き家の持ち主は売却希望が多く、ミスマッチが生じています。また、市でも空き家バンク制度や補助金などの空き家の活用施策を進めていますが、老朽化による修繕の必要や家財が残っているなどの要因により、空き家バンクに登録されても活用につなげていない物件もあり、移住したくても住む家がなかなか決まらない現状があります。そこで本ワークショップでは、自治体や地域の宅建業者などへのヒアリングや調査を通じて、すぐ住める賃貸の空き家を増やすべく、**皆さんならではの視点で空き家の活用アイデアを提案**していただきます。

## 珠洲市の魅力

あなたは「珠洲」が読めますか？石川県が一番北、能登半島の最先端にある、人口約 13,000 人の本州で最も人口の少ない市です。世界農業遺産に認定されている豊かな里山里海の原因風景やキリコ祭り等の伝統文化を色濃く残しながらも、珠洲の魅力を実地で再発見する「奥能登国際芸術祭」など、先進的な取り組みにも積極的に挑戦する、なつかしくて新しいまちです。



# 募集要項

募集期間	2023年6月2日(金)～6月18日(日) 23:59 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生(修士課程)(学部、専攻、学年問わず)
応募条件	<b>原則として事前説明会(オンライン)への出席 および 全ての公式日程(次頁)への参加が可能なこと</b>
募集人数	1チーム(5名)
応募方法	<b>事前説明会(オンライン)について【要申し込み】</b> 日時: 6/7(水)、6/12(月)、6/15(木) 12:30～12:55(全日程) ※申し込み方法などの詳細は、WasedaメールもしくはWebページ上でのご案内に記載しています。 ※すべての回で内容は同じです。上記日程のうち、いずれかの回にご参加ください。 ※事前相談会(12:55～13:10)も上記日程で実施します(参加は任意です)。 <b>(説明会出席後) 以下の手順もしくは右のQRコードのリンク先から申請してください。</b> ① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携ワークショップ2023夏編」を検索 ② 「地域連携ワークショップ2023夏編応募フォーム」から「申請」をクリック ③ 必要事項(志望理由、ワークショップ期間中のスケジュールなど)を入力して申請 
選考方法	書類選考: 結果通知は <b>6月28日(水)までにWasedaメール</b> にて通知します。 ※ <b>面接選考(オンライン)</b> を実施することがあります。その際は対象者に別途ご案内します。
注意事項	① 当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません。 ② フィールドワーク(現地調査)の実施を含む対面・オンラインのハイブリッド形式で実施します。活動地は早稲田キャンパス、長浜市田根地区となります。 ③ <b>【重要】公式日程以外にも、自主的にミーティングやグループワークを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。</b> ④ オンライン実施の場合、「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないよう措置を講じてください。 ⑤ 参加にかかる費用(現地までの交通費、フィールドワーク期間中の食費、オンラインでの活動に必要な端末の購入費、通信費等)は参加者による実費負担です。 <b>宿泊は珠洲市内の施設を利用します(宿泊費補助あり)</b> 。その他、大学からの補助(地域連携ワークショップ活動助成金)により実際の個人負担は食費等を除き10,000円程度になる予定です(金額等詳細はワークショップ開始時にご案内します)。 <b>※交通費の目安(片道・ご参考):</b> 東京駅～金沢駅(新幹線15,000円前後) + 金沢駅～珠洲市内(高速バス利用2,730円) ⑥ <b>【重要】当ワークショップに応募する場合、同時期に実施されるプロフェッショナルズ・ワークショップへの応募はできません。事前に各ワークショップの特色などをご確認の上、応募してください。</b> ⑦ 当ワークショップは複数の地域(第2希望まで)に応募することができますが、最終的に参加できるのは1地域のみです。当地域を第1希望として申請し、選考を通過した場合はその時点で第2希望の地域のワークショップには参加できなくなります。 ⑧ 早稲田大学の学生補償制度に加入いただけます。 ⑨ ワorkshop実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、 <b>公欠扱いとはなりません。</b> ⑩ ワorkshopでは自治体、大学がInstagram等公式SNSを含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。写真・動画掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、予めご了承ください。 ⑪ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。 ※新型コロナウイルス等の状況によって、プログラム内容等に変更が生じる場合があります
問合せ先	教務部教育連携課 ( <a href="mailto:rbs0@list.waseda.jp">rbs0@list.waseda.jp</a> ) ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部/研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

# ワークショップスケジュール（公式日程）

	予定	日程	内容
①	オリエンテーション @早稲田	7月7日（金） 17:00～19:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者顔合わせ</li> <li>・自治体担当者（@オンライン）からの説明</li> <li>・課題の課題およびテーマ設定の背景説明</li> <li>・今後のスケジュール確認、事前調査の進め方など説明</li> </ul>
②	交流会 @早稲田	<b>7月13日（木）</b> <del>7月12日（水）</del> 17:00～19:00 <b>※6/6 日程変更</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニゲームなどを通して参加学生同士の親睦を深める</li> <li>・フィールドワーク前の注意事項確認</li> </ul>
③	事前調査期間	オリエンテーション ～7月31日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で地域やテーマについて調査／情報収集を行い、チームとしてテーマに対する仮説を立てる</li> <li>・ヒアリングに関する事項（ヒアリング希望先、質問内容など）を検討し、自治体へ提出</li> <li>・必要に応じ、大学キャンパスにてグループワーク</li> </ul>
④	オンラインヒアリング	8月1日（火） ～8月4日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査に向けて、仮説検証等に必要なヒアリングを行う</li> <li><b>※ヒアリング先のご都合に応じ実施時間は流動的となるため、左記の日程はスケジュールを空けておくようにしてください。</b></li> </ul>
⑤	フィールドワーク @珠洲市	8月7日（月） ～8月10日（木） 【3泊4日】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の関連施設などを訪問</li> <li>・市長やテーマに関するキーパーソンやチームの仮説に基づく方々へのヒアリングを実施</li> </ul>
⑥	対面グループワーク @早稲田	8月29日（火） 10:00～17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間報告会前に学内の教室でグループワーク可能。</li> <li>実施時間は参加学生の都合を確認し決定</li> </ul>
⑦	中間報告会 @早稲田	9月1日（金） 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案内容の報告</li> <li>・自治体担当者（@オンライン）、大学職員が参加予定</li> </ul>
⑧	プレ報告会 @早稲田	9月11日（月） 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終報告会に向けた進捗確認／発表練習</li> <li>※進捗状況によっては左記日程に追加で実施する場合があります。</li> </ul>
⑨	最終報告会準備・ 追加調査期間	中間報告会 ～9月18日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間／プレ報告会でのフィードバック等をふまえたブラッシュアップ</li> <li>・提案の再検証（必要に応じて追加のヒアリングを実施）</li> </ul>
⑩	最終報告会 @早稲田	9月19日（火） 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長など自治体関係者や地域住民の方々（@オンライン）に向けて提案を発表（約2時間）</li> <li>※最終報告会終了後、学生と大学職員との振り返り会（1時間程度）を実施するため、<u>解散時刻は17:00頃</u>となります。</li> </ul>

※上記以外の日程は必要に応じて参加学生同士で相談し、自主的に集まる日程やオンラインでの会議等のスケジュールを決め、ワークショップを進めていきます（学生同士の話し合いに大学職員や自治体関係者が参加することもあります）。

# 実施の流れ

- オリエンテーション：自治体の方から課題（テーマ）やその背景を聞く  
↓
- 事前調査：  
個人、チーム単位で地域やテーマについて調査。  
課題に対する仮説を設定し、提案の方向性をまとめる。  
どのような方にヒアリングしたいのか、どのような質問をしたいのかりスト化  
↓
- 現地調査・ヒアリング：  
自治体関係者、地域住民へのヒアリング（対面＋オンライン）  
↓
- 最終提案資料作成：  
現地調査やヒアリングなどを踏まえ、仮説を検証し、最終提案資料をまとめる  
↓
- 最終報告会：自治体関係者、地域住民を前にプレゼンテーション

学生同士で時間を決め、対面での  
打合せや Zoom 等で議論を進める

## 過去のワークショップ参加学生の声

※当地域の参加学生以外のものも含まれます。

### ワークショップでの活動を振り返って

- 「学生だけじゃ何も変えられない」から「学生だから変えられる」という経験ができました。（社会科学部 1 年）
- インターネットで得られる情報は一部に過ぎず、生の声を聞いて初めてわかることがたくさんあった。（中略）また、自分のアイデアを言語化する難しさを痛感した。（文化構想学部 2 年）
- 今までにない視点を発見することができたことがもっとも大きな収穫でした。（中略）机上の空論でない地方創生とは何かを学ぶことが出来ました。なかなか大学にいても学べないことであったので貴重な経験となりました。（政治経済学部 3 年）

### チームメンバーとの関わりを通して

- 元々考えていた案がヒアリングなどを通じて崩れても、また新たなものを考えようと前向きになれたり、（中略）ひとりではなくチームで提案を構築することの素晴らしさや難しさを体験できたので、今後に活かしていきたいです。（教育学部 2 年）
- 自分の長所や短所を発見することができたし、意見を出すことの躊躇いなくなりました。小さな意見や変わった意見でも言葉にすることで、新たな提案に繋がったこともあったため、発言に自信を持てるようになりました。（スポーツ科学部 2 年）
- あまり自己主張が得意ではなく、自己肯定感も低めだった自分ですが、今回の WS を通して相手の考えを尊重しながらも自分の意見を主張する大切さを学び、自分の得意なこともチームメンバーに教えてもらいました。（人間科学部 3 年）

### 「地域貢献」「地方創生」に対する考えの変化

- 自分が住む地域をよりよくするために、行政の方々だけでなく、ヒアリングでお伺いした多くの方々それぞれ熱い思いをもって様々なことを考えていらっしやることがとても印象的でした。今思えば、ワークショップ参加前は「地域貢献」「地方創生」といったキーワードを軽く考えていたと思います。（教育学部 1 年）
- ヒアリングを通して、「地域貢献」「地方創生」はその地域に愛着をもって創生したいと思って進んでいる方々を尊敬し、その方々が感じている魅力に寄り添っていき延長線上にあると強く意識するようになりました。（創造理工学部 1 年）